

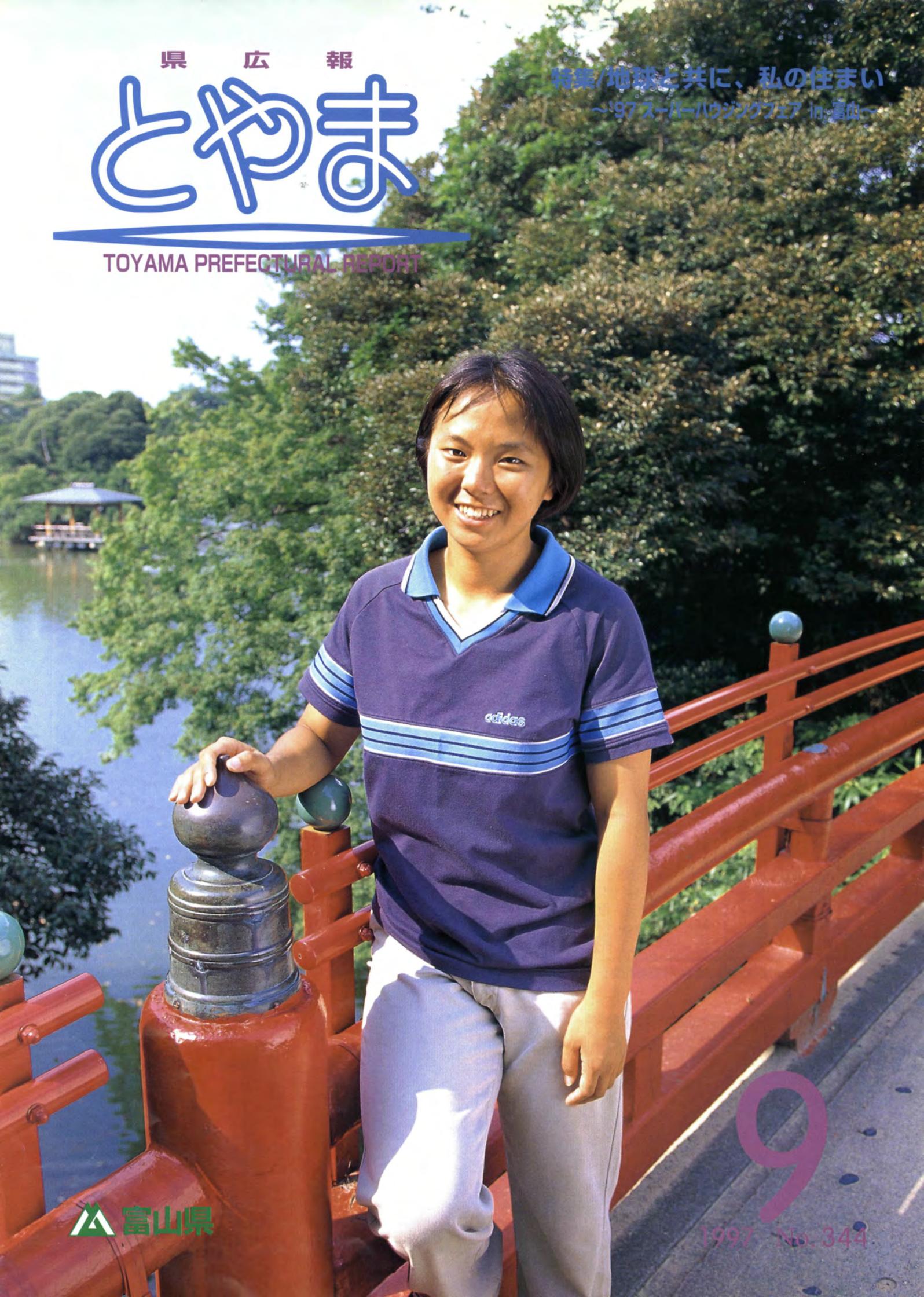
県 広 報

# とやま

TOYAMA PREFECTURAL REPORT

特集/地球と共に、私の住まい

～'97スーパーハウジングフェア in 富山～



ひとアズとやま 遊学感



「とにかく周りを気にせず、自分のゴルフをすることだけを心がけました」と振り返るのは、去る五月、ゴルフのヤクルト・レディースで見事優勝したプロゴルファー、池淵富子さん。五十歳六十六日という年齢でのツアー優勝は、史上二位にあたる快挙です。

池淵さんは大山町上滝出身。高校時代にはソフトボール部に所属し、ピッチャーとしてチームを全国大会ベスト8に導きます。卒業後上京し、企業の女子野球チームに五年間在籍。「その頃からスポーツで身を立てたいと考

え始めていました。そんな折、会社の先輩からゴルフを勧められたんです。こうして二十五歳でプロを志した池淵さんは、練習場で働きながら上手なお客さんのスイングを真似てはひたすらボールを打ち続け、二十九歳にしてついにプロテストに合格。それから七年後のワールドレディース(83年)で初優勝を遂げたのに続いて、富士通レディース(85年)で二勝目をあげるなど十五年連続してシード権を確保してきました。ところが、



ゴルフダイジェスト社提供 優勝カップを掲げる池淵選手

不屈の精神が生んだ見事な復活劇

プロゴルファー 池淵 富子さん

9 CONTENTS

Table listing contents: 表紙 撮影/赤羽仁論(富山県写真家協会会員) 2, とやま遊学感/高岡古城公園 1, ひとアズとやま/プロゴルファー 池淵 富子さん 2, クローズアップ/① 環日本海環境自治体サミット 2, ② 富山県国際健康プラザ(仮称)起工式 3, ③ 富山県イメージアップ賞授賞式 4, 特集/地球と共に、私の住まい 97スーパーハウジングフェア in 富山 8, PINUP TOYAMA 写真/松田 勉(富山県写真家協会会員) 詩/池田瑛子(富山現代詩人会会員) 10, ふるさとみてある記(大門町) ① 陶友会 12, ② 多趣味人/廣田郁世さん 13, ③ 大門町保健センター 14, エッセイ/山本玲子(富山県女性スポーツの会会長) トピックス/富山県民福祉条例 施行規則制定 16, 県からのお知らせ 暮らしのアドバイス 表3, とやま水紀行/みくりが池 (立山町) 表3

市街地にある水と緑の憩いの広場 高岡古城公園

レポーター: 鈴木賀代さん(富山医科薬科大学)(表紙の人)



▲ 広大な本丸広場

高岡駅から徒歩で十分程のところに、約二十一万平方メートルの広大な面積を持つ高岡古城公園があります。この公園は、加賀藩二代藩主、前田利長が築いた高岡城の跡を公園として整備したもので、総面積の三分の一が水濠で占められているのが大きな特徴です。私が見学したのは本丸広場。ここは高岡城本丸の跡地で、現在は一面芝生でおおわれています。広場の周囲は、日本の代表的な彫刻家の作品十八点が点在する「芸術の森」になっていて、散策しながら優れた作品を鑑賞することができます。公園内で家族連れに人気のスポットは動物園。ここでは、フラミンゴやチンパンジーなど、四十七種類の動物を飼育。特にペンギンはユーモラスでとても可愛く、しばらく見入ってしまいました。



水をふんだんに利用した景観(朝陽の滝)

市の中心部にあるとは思えないほど緑豊かな公園の所々には遊歩道が巡らされていて、水濠の水を循環させた滝など変化に富んだ景観を楽しみながら散策することができます。このほか園内には、世界の遊具を集めた児童園や図書館、博物館、体育館なども併設。また、夏の「越中万葉夢幻譚」や秋の「万葉集全二十巻朗唱の会」など市民イベントの場としても親しまれています。皆さんも、爽やかな秋空のもと、水と緑に彩られた野趣あふれる高岡古城公園で憩いのひとときを過ごしませんか。

▼ 古城公園の象徴でもある色鮮やかな「朝陽橋」



問合せ 高岡古城公園 0766-20-11563 ※万葉集全二十巻朗唱の会 10月3日(金)午前10時から10月5日(日)午後8時45分まで三昼夜にわたって開催



▲ 茶目つけたっぷりのペンギンたち

前田利長公の荘厳な銅像

# 知・ス・アツプ

## 国や体制を越えた連携協力を確認

### 環日本海環境自治体サミット（7月22日）

環日本海環境自治体サミットが七月二十二日、富山市の名鉄富山ホテルにおいて、日本、中国、韓国、ロシアの四か国から二十八の自治体の代表者を集めて開催されました。まず、中沖知事が「この会議を契機に、北西太平洋地域の環境保全に対する協力体制が一層充実するよう念願する」とあいさつ。続いて、近藤次郎中央環境審議会会長が、海洋の環境問題等について基調講演を行いました。午後からは「環境保全に係る自治体の連携協力について」今後の油污染事故の二つの円卓会議が設けられ、酸性雨対策や油汚染の防除における協力システムの整備などについて活発な議論を展開。最後に中沖知事が、●環境保全施策の効果をもつため沿岸自治体間の連携協力を一層促進すること、●各国政府に海洋環境の保全・修復にかかわる人材育成や技術の向上を要望すること、などを盛り込んだ「富山アピール」を採択。同アピールは、翌二十三日に富山県民会館で開かれた北西太平洋地域行動計画（NOWPAP）第一回フォーラム会議において、地方自治体の総意として提出されました。

## 「日本一の健康県づくり」の拠点に着工

### 富山県国際健康プラザ（仮称）起工式（7月28日）

県民の健康づくりの中核施設となる富山県国際健康プラザ（仮称）の起工式が七月二十八日、富山市友杉・任海の建設予定地で、県や工事関係者、地元町内会代表者ら約百三十人が出席して行われました。式では、祝詞奏上の後、中沖知事がかま入れ、施工業者の代表がくわ入れ、すき入れを行い、出席者が玉



かま入れて工事の安全を祈願



▲「日本一の健康県づくりの中核に」と述べる中沖知事



▶完成予想模型

串を捧げて工事の安全を祈願しました。引き続き行われた直会であいさつに立った中沖知事は、「日本一の健康県づくりの中核基地として、また、伝統医学の国際的な基地として整備していきたい」と述べました。同プラザは、展示を通して健康づくりに関する学習できる（生命科学館）、一人ひとりにあった健康づくりを提案し、その実践を指導する（健康スタジアム）、世界の伝統医学の研究とその支援を行う（国際伝統医学センター）からなる全国でもユニークな総合的健康づくり施設。敷地面積約十・七ヘクタール、延べ床面積約一万五千方メートル、総事業費百三十億円で、平成十一年夏のオープンを予定しています。

## 県・政・の・動・き

平成9年7月11日～平成9年8月10日

- 7月14日 知的所有権センター開設記念講演会
- 7月18日 海上自衛隊護衛艦入港記念行事（～20日）
- 7月21日 環日本海環境自治体サミット（～23日）
- 7月23日 北西太平洋地域行動計画（NOWPAP）第1回フォーラム会議（～25日）
- 7月26日 '97日本海学講座「海の生物教室」
- 7月28日 富山県国際健康プラザ（仮称）起工式  
アジア環境国際フォーラム（～30日）
- 7月29日 とやまファン倶楽部会員交流会  
富山県イメージアップ賞授賞式
- 8月7日 知事のまちなまり（黒部市）
- 8月8日 2000年にGO! とやまスポーツフェスティバル

## イメージアップ貢献者に感謝を込めて

### 富山県イメージアップ賞授賞式（7月29日）



▲受賞のあいさつをする吉田一夫監督



「草刈り十字軍」のひとコマ▶

活動を通して富山県のイメージアップに貢献した個人や団体に対して感謝状を贈呈する「富山県イメージアップ賞授賞式」が七月二十九日、東京都内のホテルで行われました。



今回受賞したのは、映画「草刈り十字軍」製作委員会（以下「草刈り十字軍」）は造林地への除草剤空中散布反対から始まった草刈り運動を描いたもので、富山県から生まれた地道な環境保護活動を全国に向け発信しました。また、高岡万葉まつり実行委員会は、万葉集全二十巻を三昼夜かけて歌いつなぐユニークなイベント「万葉集全二十巻朗唱の会」を主催。市民総参加の事業として全国から注目を集め、本年度「第一回ふるさとイベント大賞」を受賞しました。授賞式は、富山県を愛し応援する会員のネットワーク組織「とやまファン倶楽部」の会員交流会において行われ、映画監督の吉田一夫さんほか「草刈り十字軍」製作スタッフと、高岡万葉まつり実行委員会委員長の藤井孝高岡市助役に中沖知事からトロフィーと賞状、副賞が手渡されると、約二百人の出席者から大きな拍手が沸き起こりました。



▶独創的なイベント「万葉集全二十巻朗唱の会」

～'97スーパーハウジングフェア in 富山～

ふれあいタウン



●やすらぎ空間●  
**ふれあいストリート**  
いこいとにぎわいの広場

●ゆたかさ実感●  
**まなびタウン**  
文化の広がり、シンポジウムに講演会

●さわって体感●  
**たっちタウン**  
見て、触れて、人にやさしい住まいづくりを体験

●みながら発見●  
**みらいタウン**  
最新の住宅情報が一堂に集合、21世紀を展示

●たのしさ発信●  
**ずまいるタウン**  
楽しさいろいろ、公開生放送に落語に漫才

●きいて納得●  
**なるほどタウン**  
楽しむ、学ぶ、多彩なセミナー

●たよって安心●  
**うるとらタウン**  
暮らしを守る、消防士に警察官にウルトラマン



▼富山県コーナ  
富山の誇る日本一(世界一)を写真やイラストで紹介するほか、映像を用いて富山の住文化や新しい住まいづくりを来場者とともに考える。また、ゲストによる楽しいトークショーも開催。

みながら発見  
**みらいタウン**  
(テクノホール)

これからの住まいづくりへの新たな方向性を見る、触れる、感じることができる展示エリアとして展開します。

▼富山市コーナ  
フェアのホームページや住宅関連情報にアクセスできるインターネット・カフェを設置。また、大工道具展を開催し、家づくりの知恵や技を検証する。  
▼住宅月間中央イベントゾーン  
快適な地球環境を次世代に残すために住まいにできることを、北野大さんがやさしく解説するほか、

開催セミナー(抜粋)しゅもっ  
わが家を素敵にするインテリアのテクニクを、色彩学の観点から解説。また、素人でもできるオリジナル家具の作り方を指導。  
▼「家づくりの計画から実行まで」  
家づくりに取り組むときの考え方や資金計画のほか、様々なポイントを



きいて納得  
**なるほどタウン**  
(テクノホール)

新しい住まいづくりを楽しむながら学べるいろいろなセミナーが開催されます。

▼企業展示ゾーン  
①新しい住まい方、②しあわせな住まい、③安全で快適な住まい、④魅力あるまちづくり、⑤暮らしの情報の各テーマに沿ったバラエティーあふれる出展ゾーン。  
か、住まいを長持ちさせるポイントや環境への気配りを紹介。また、クイズを通して、やさしく住み続けることを考える。

快適生活へのヒント満載！六つのエリア  
フェアでは、富山産業展示館(テクノホール)をメイン会場に、その周辺を含めた一帯を「ふれあいタウン」とし、次の六つのエリアを設けます。

地球と共に、私の住まい



第9回住宅月間中央イベント

'97スーパーハウジングフェア in 富山

平成9年10月9日[木]～12日[日]  
メイン会場/富山産業展示館

主催/住宅月間富山県イベント実行委員会、住宅月間実行委員会、住宅月間中央イベント実行委員会  
後援/建設省、富山県、富山市、富山県市長会、富山県町村会、住宅金融公庫、住宅・都市整備公団

今日、富山県の住環境は全国でもトップレベルといわれていますが、二十一世紀を目前にしてライフスタイルや住まい方もますます多様化しています。このようななか、快適な生活の実現のためには、県民一人ひとりが新しい住まい方や住みよい住環境づくりに対する意識を高めていくことが必要です。  
住宅月間にあたる十月には、全国各地で住環境の向上を図る行事が繰り広げられますが、中でも最大のイベントとなる「住宅月間中央イベント」が、「'97スーパーハウジングフェア in 富山」として本県で開催されます。  
このフェアでは、「地球と共に、私の住まい」を開催テーマに、県民に二十一世紀を展望した新しい住まい方を提言するとともに、住まいについて広く考える機会を提供します。

## やすらぎ空間 ふれあい ストリート

以上6つのエリアは、植栽などで装飾された「ふれあいストリート」で結ばれます。

- ▼苗木やインテリアなどの各種売店
- ▼飲食・休憩コーナー
- ▼庭づくりや木工、クロス張り替えなどの体験コーナー

- ▼起震車による地震体験
- ▼屈折式はしご車やパトカーへの体験乗車
- ▼レンジャー隊による人命救助活動実演



## たよって安心 うるとらタウン

(富山県消防学校グラウンド)

「災害に強いまちづくり」に焦点を絞り、住まいや住まいづくりの見地から防災対策の必要性を実感できる参加体験プログラムを用意します。

## 先人の知恵再発見 探訪 バスツアー

富山らしい住まい方や住まいづくりについての専門家随行ガイドバスツアーを実施します。(1)下新川民家再生コース、(2)高岡キトキトコース、(3)富山八尾おわらコース、(4)五箇山世界遺産コースの各コースを設定。参加者公募)

## 未来へ飛躍 炉端談義

(五箇山合掌集落)

世界遺産に指定された五箇山民家の炉端で、合掌民家を移築した住宅に住む浜美枝さん(女優)の体験談を中心に、住まいづくりの現在、過去、未来について夜更けまで語り合います。



▲浜 美枝さん

## 住まいの証明 モデル住宅 見学

省エネ・高耐久・バリアフリーの三条件を基本設計とした県住宅公社団地(富山市月岡西緑町)のモデル住宅を見学。フェア来場者も参加できるよう住宅展示場とハウジングフェア会場をシャトルバスで結びます。

## 富山の魅力再発見

フェア会場での催しのほか、富山の魅力を再発見できる次の三つのイベントを開催します。

「住みよい県」から「住みたい県」へのステップアップは、ゆとりある快適な生活の実現から始まります。そのためには、しあわせを育む住環境づくりに県民の皆さんが積極的に参加していくことが必要です。住まいは毎日の生活を営むうえでの基本。「スーパーハウジングフェア」は、新しい住まいや住まい方のヒントを与えてくれる場となることでしょう。皆さんどうぞご来場ください。

問合せ 住宅月間富山県イベント実行委員会  
事務局(県庁建築住宅課内)  
0764-44-3359

## さわって体感 たちタウン

(富山市体育文化センター)

高齢者や幼児にやさしい住まいを、来場者自らが体験できるエリアとして展開します。

▼「健康住宅」  
人の健康に害を及ぼす住宅の原因をつきとめ、これからの健康住宅のありかたを探る。  
※このほか、「住宅のリフォーム」や「地震に強い家づくり」など多彩なセミナーを用意。

▼住まいのバリアフリー体験館  
身体、視覚、聴覚の不自由を和らげる手段を紹介し、住まいのバリアフリー化を促進。  
▼住まいの相談コーナー  
法律や税、融資から設計、リフォームまで専門家があらゆる相談に対応。



## ゆたかさ実感 まなびタウン

(富山能楽堂)

中央行事として住宅月間記念講演会を実施するほか、くらしと住まいに関するシンポジウムを開催します。また、狂言やコンサートなどの舞台イベントも併せて行います。



▶立川志の輔

## たのしさ発信 すまいるタウン

(富山市体育文化センター)

公開生放送や落語、マジック、コンサートなど来場者に楽しんでいただけるイベントが盛り沢山。また、富山県行事として記念講演会を実施するほか、住宅に関する様々なコンテンツ入賞作品などを展示します。



◀ナボレオンズ

### 総合展開プログラム

会場	10月9日(木)		10月10日(金)		10月11日(土)		10月12日(日)		
	am	pm	am	pm	am	pm	am	pm	
ふれあいタウン	富山県・富山市ゾーン、住宅月間中央イベントゾーン、企業展示ゾーン								
	みなが発見	みらいタウン	チュウパブリック生中継		富山テレビ生中継				
	きて納得	なるほどタウン	庭づくり	住宅のリフォーム	明りのデザイン	健康住宅	家づくりの常識、非常識	園芸教室	
	さわって体験	たちタウン	住宅供給公社ゾーン、住まいの相談コーナー、お楽しみ抽選コーナー						地震に強い家づくり
	たのしさ発信	すまいるタウン	合同記念式典	FMとやま公開放送	KNBラジオ公開放送	クラシックコンサート	すまいる寄席	大正琴演奏会	記念講演会
	ゆたかさ実感	まなびタウン	住宅月間記念講演	Dr.コバの風水学から見た家づくり	シンポジウム	シンセイザー&胡同	狂言		池原義郎
たよって安心	起震車による地震体験、消火器具による消火訓練								
	レスキュー隊救急活動実演、屈折式はしご車体験乗車、DS隊模範演技、ウルトラマンティガショー ほか								
	飲食売店、休憩コーナー、お茶コーナー、ミニ庭園、苗木植木即売会、インテリア売店								
やすらぎ空間	体験コーナー 庭づくり庭園の維持管理、木工教室、筋かいのやり方、戸・階段・廊下形状の比較、見えない設備、配水管の修理、クロス・ふすま・床の張替、量表の工作、MYスタンドを作ってみよう!								
	合掌集落での炉ばた談義								
	浜 美枝 ほか								
富山の魅力再発見	未来へ飛躍 炉ばた談義		私を考える、住まいの現在、過去、未来		富山八尾おわらコース		富山八尾おわらコース		
	先人の知恵再発見 探訪バスツアー		歴史と伝統を体感、ディスプレイとやま		高岡キトキトコース		高岡キトキトコース		
	住まいの証明 モデル住宅見学		新しい住まい方、住みたい家		五箇山世界遺産コース		五箇山世界遺産コース		
シャトルバス運行(フェア会場⇄モデル住宅)									
■記念コンサート 「鈴木蘭々 スペシャルライブ」 とぎ/10月17日(金)⑥ ところ/富山市芸術文化ホール(オーバードホール)									

※イベントの内容は、変更する場合があります。

符合のように  
彼岸花の咲く九月になった  
逝ったひとの魂の花火だろうか  
誰もいない海に  
あやうい翳<sup>かげ</sup>がよぎる  
ゆうべ写真で見た円筒埴輪<sup>はにわ</sup>の線刻画  
うつくしいゴンドラ形の船は  
片側に櫂<sup>かき</sup>が七本  
舳先<sup>へさき</sup>には水先案内の鶏もいて  
靈魂を他界へ運ぶ船かもしれないという  
あの櫂が漕いだ古代の海に  
深く遙かに連なり 波がしぶく  
もうすぐ  
稲妻のひそむ沖のあたり  
変奏の譜面がめくられるだろう



▲秋の小境海岸（氷見市）

**PIN UP TOYAMA**  
ピンナップとやま

撮影／松田 勉 詩／池田瑛子  
写真プレゼントについては 16 ページ参照

ふるさと  
ふるさと

記

# 大門町

人口 / 12,476人  
面積 / 21.77km<sup>2</sup>  
(平成9年7月1日現在)

〈大門町の概要〉  
大門町は、都市の便利さ、楽しさに、ふるりの安らぎとめくもりのある生活、文化環境を整える「都鄙融合のまちづくり」を目指している。  
五月の越中だいまん風まつりは、県内外から五千余りもの風が集まり、庄川河川敷の上空をおおいつくす。また、九月八日(二口熊野社)と十日(榎田神社)に行われる火渡り神事は、県内でも珍しい行事となっている。



## 個性豊かな器づくり

陶友会

陶芸に親しめる場所として、県内ではすっかり定着した感のある「陶房匠の里」。この匠の里を拠点に焼き物づくりに情熱を傾けているのが「陶友会」だ。

「会員は、ほとんどが素人からスタートした人ばかりなんです」と語るのは、同会会長の徳井伊佐夫さん。陶友会は、昭和五十六年の粘土工芸センター設立を契機に結成。会員三十二名は、仕事が終わった後や休日に集まって活動している。「有名作家のコピーにとどまらず、自分たちの特徴を出していこうと会員一同頑張っています」と徳井さん。



▲徳井伊佐夫さん

同会では、生地や釉薬(うわぐすり)、窯によって様々な個性が生まれる陶芸の魅力をさらに理解しようと、毎年全国の窯場を訪れている。「これまで、備前や信楽など数多くの窯場を訪れました。作家の方に窯場を案内してもらい、直接お話を聞けることは大変有意義です」と徳井さんは目を細める。  
十月五日からは、会員たちの活動成果を発表する「第十二回会員展」が匠の里で開催される。「二百点余りの作品を展示するほか、電動ろくろの実演・体験コーナーや即売会などもあるんですよ」と徳井さん。陶芸に関心のある人は、訪れてみてはいかがだろうか。



▲陶友会のみなさん

## 多彩な趣味で人生を豊かに

廣田郁世さん

余暇時間の増加に伴い、それらを自らの趣味に活かす人が増えつつあるが、廣田郁世さんもその一人で、「多趣味人」として知られている。

「いつも楽しく何かに取り組んでいるのが好きなんです」と語る廣田さんは、日本画家として県外で個展を開く一方、雑誌の挿絵やポスターのデザインなどを手掛けている。今年は葉書「かもめ」の「北陸版で、「天の川」を題材としたイラストを担当した。それ以外に、人形劇団「ニッチ人形芝居」に所属して、人形の衣装製作を行うかわら、女性では県内に三人しかいない気球パイロットの一人として「となみスカイフェス」などにも参加している。



▲自作の人形を持つ廣田郁世さん

このように芸術やスポーツに幅広く関わっている廣田さんだが、複数の活動が自分の「視点」を変え、相互に好影響をもたらしているという。「例えば、気球から散居村や富山湾などの美しい眺めと出会うことで、絵を描く上での見方はもちろん、富山に対する見方も大きく変わりましたね」と廣田さん。

現在は、九月に新川文化ホールで開催される人形劇シアターの準備中。「秋には気球シーズンも到来するんですよ」とますます忙しそうなる廣田さんだが、これらは彼女にとって人生を豊かにする手段にほかならない。



▲気球仲間とともに

## 町民の健康づくりの拠点

大門町保健センター

健康づくりの活動拠点として昨年四月、特別養護老人ホームこぶし園隣にオープンしたのが大門町保健センターだ。

「赤ちゃんからお年寄りまで、ライフステージに応じた健康づくりを進めているんですよ」と語るのは、所長の大澤田隆さん。同センターでは、各種検診など通常の保健活動のほか、町民に親しまれる施設を目指す。



▲大澤田隆さん

なかでも、月一回、三歳未満の子どもと母親を対象に開いている「子育てサークル」は、毎回三四十組の親子が参加する盛況ぶり。これは、健康相談に訪れる母親たちの会話から、子育てに関する情報交換の場がないことを知った職員のアイデアで始まったものだ。「七塔づくりやミニ運動会など季節の行事を行っています。お母さんたちの子育ての悩み解消や気分転換になっているんですよ」と大澤さん。このほか、お年寄りを対象にしたパークゴルフ教室など、町民が同センターを訪れる機会づくりに努めている。



▶親子で七塔づくりに参加

「今後は、町民や専門家の中から健康づくりを推進するリーダーを育てていきたいですね」と語る大澤さん。これからも同センターを中心とした健康づくりの輪が、町全体に広がっていくことだろう。

# 人にやさしいまちづくりをめざして

～富山県民福祉条例施行規則制定～

福祉に対するニーズが高度化・多様化するなか、県では少子高齢社会への対応や障害者などの自立と社会参加を積極的に進めていくため、昨年9月に富山県民福祉条例を制定しました。現在、この条例に定める「人づくり」「ネットワークづくり」「まちづくり」の3つの施策の基本方針に基づいて様々な施策を推進しています。

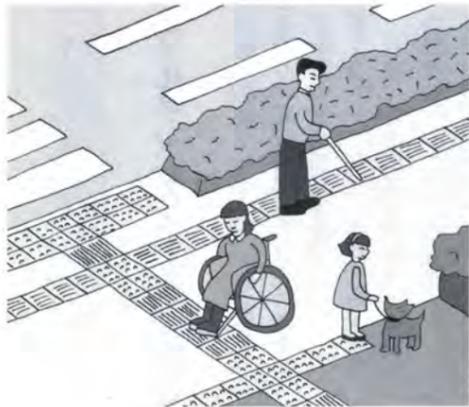
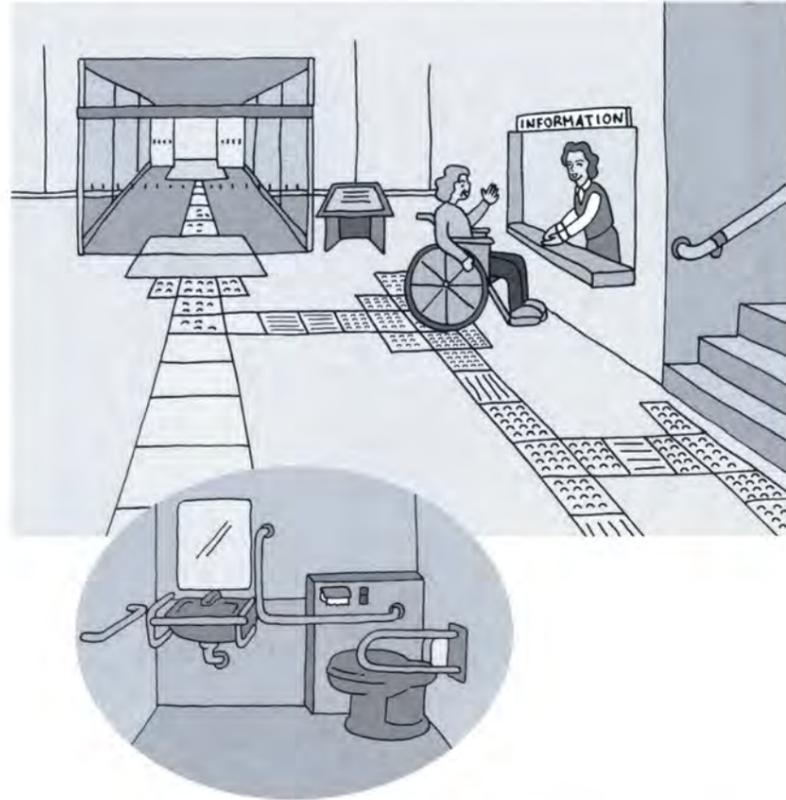
このうち「まちづくり」に関しては、8月1日に富山県民福祉条例施行規則を制定し、高齢者や障害者をはじめとするすべての県民が安全かつ快適に暮らせる、人にやさしいまちづくりの実現に向けて取り組んでもいくことにしています。

## 富山県民福祉条例 施行規則のあらまし

- 不特定多数の人が利用する生活関連施設を整備対象として定めました。(例：病院、劇場、百貨店、ホテル、飲食店、理美容院等の建築物、公共交通機関の施設、道路、公園など)
- これらの生活関連施設の出入口、廊下、階段、便所などの構造および設備の整備に関し、必要な基準を定めました。
- 生活関連施設のうち一定規模以上のものについては、新築等に着手する前に届け出をお願いしますことにしました。

なお、同規則は、平成10年4月1日から施行されます。今後、生活関連施設の整備(新築、増・改築など)を計画される方は、事前にご相談ください。

※問合せ 県庁社会福祉課 ☎0764(44)3109  
 県庁建築住宅課 ☎0764(44)3357  
 富山市建築指導課 ☎0764(43)2107  
 高岡市建築指導課 ☎0766(20)1429  
 または、お近くの県土木事務所建築課



## 福祉のまちづくり総合整備事業の実施

県では、生活関連施設の整備を促進するため、「福祉のまちづくり総合整備事業」を設け、県有施設のバリアフリー化をはじめ次のような支援を行っていく予定です。

- ① 市町村施設の整備に対する助成
- ② 民間事業者が行う施設整備に対する低利融資
- ③ 高齢者、障害者の住宅改善に対する助成

### 福祉フォーラム「人間らしく生きる」

日時 9月23日(火)  
 会場 とやま自遊館ホール  
 内容 樋口恵子氏による基調講演 ほか  
 問合せ 富山県民福祉推進会議(県社会福祉協議会内)  
 ☎0764(32)2958

# 健やかに 若々しく

富山県女性スポーツの会会長

谷野呉山病院看護部長 山本玲子



立秋も過ぎ緑豊かな呉羽丘陵にも秋の訪れが感じられ、すすきの穂だちや、紅白の萩の花が涼風にやさしくゆれていきます。

みよりの秋、芸術の秋、スポーツの秋、食欲の秋、モリモリ食欲を健康生活に役立て、夏バテを回復し、やがてくる冬に備えて健康づくりに励みましょう。

健康づくりの三要素は、栄養、運動、休養です。中でも私たちの日常生活の中で食事の果たす役割は大きく、健康維持に不可欠です。一日三食、規則正しく、おいしく楽しみながら食べましょう。

特に朝食は、一日のスタートの大切なエネルギー源。早寝早起きのリズムをつくり、午後十一時迄には就眠し、起床は

朝食三十分前に行ない、脳と胃袋の目覚めを心がけて下さい。その一方法として、大きく深呼吸を三回、大きくゆっくり背のびを三回、首の前後左右倒しを二回、ゆっくり首回し各二回ずつ行ない、「目が覚めたぞ、今日も一日元気だ、がんばるぞ」と自らを元気づけながらおやり下さい。

### 30運動の展開

#### 1日30食材以上を食卓に

たんぱく質、脂肪、炭水化物、ビタミン、ミネラルの五大栄養素の働きをよく知り、バランスよく食べることを心がけましょう。

一つの献立に、五〜六種類の食材を使って調理すると、三十食材も難なくクリアーできると思います。例えば、みそ汁に豆腐、ワカメ、生姜、人参、牛蒡等を入れると、具の多いことと生姜の香りで減塩も気にならず、おいしく食べることができます。

#### 1くち30回以上よく噛んで

よく噛むことで唾液の分泌が活発になりますが、唾液は消化を促進するほか、食材についている有害物質(癌の誘発物質等)を無害化すると言われています。牛乳もよく噛んで、夕食時に多く飲みましょう。また、よく噛むことで「八十歳までに二十本の歯」を保持するために歯ぐきの鍛錬になります。さらに、噛むことが脳を刺激し、その活性化に役立ちます。加えて頬の筋肉の艶と張りが増し、顔立ちも若々しくなるのです。

#### 食事は30分以上かけて

楽しい気分でおいしく食べると、消化液の分泌や胃の働きもよくなります。自己の成長につながらないストレスは、思いつきよく捨てましょう。適量のアルコールも楽しい気分づくりに大切かと思えます。

食欲の秋から初めましょう。日ごろの食生活を見直し、食生活健康づくりを!

# 県からのお知らせ

## 募集

### 第1回富山県民芸術文化祭 オープニングフェスティバル入場者募集

9月から12月にかけて県内各地で開催される第1回富山県民芸術文化祭の「オープニングフェスティバル」の入場者を募集しています。洋舞、邦楽、合唱、吹奏楽などの多彩で華やかなステージをどうぞお楽しみに。

日時 9月23日(祝) 午後2時～4時45分

場所 富山県民会館

応募締切 9月8日(月) 当日消印有効

応募方法 往復はがきに住所、氏名、性別、年齢、電話番号を記入のうえ応募ください(入場無料)。

応募・問合せ 〒930-80 富山県民芸術文化祭実行委員会事務局 ☎0764-44-9616

### 公園街道を歩こう会

太閤山ランド～野鳥の園(古洞池)～ねいの里(いこいの村)までの約10kmをナチュラリストとともに歩きます。

日時 10月5日(日) 午前9時～午後5時

募集定員 50名(定員になり次第締切り)

参加費 5000円

対象者 中学生以上

### とやま男女共同参画プラン普及地域会議開催

県では、このたび策定した「とやま男女共同参画プラン」を県民のみなさんに知っていただくため、「とやま男女共同参画プラン普及地域会議」を開催します。ぜひ、お近くの会場へ足をお運びください。

※9月から11月にかけて次の市町で開催

富山市、高岡市、新湊市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、福岡町、大山町、朝日町、八尾町、大門町、福光町、庄川町

日時、会場については、県庁女性青少年課 ☎0764-44-3137まで、お問い合わせください。

### 第1回富山県民芸術文化祭協賛事業 とやま舞台芸術祭・利賀'97秋開催

「とやま舞台芸術祭・利賀'97秋」を次のとおり開催します。

## みなさんの相談窓口

- 県政について  
県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)  
☎(0764)31-4111(代) 31-3131(県民相談電話)  
FAX 44-3300(県民相談ファックス)
- 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)  
☎(0766)21-9411(代)
- 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)  
☎(0765)24-5311(代)
- 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)  
☎(0763)33-5151(代)

- 物価ダイヤル  
物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。☎(0120)16-7400(県庁県民生活課内)
- 消費生活については  
消費生活センター  
富山市湊入船町6-7 サンフォルテ内  
〈一般相談は〉☎(0764)32-9233  
〈金融相談は〉☎(0764)33-3252
- 消費生活センター高岡支所  
高岡市本丸町7-1 本丸会館内 ☎(0766)25-2777
- 交通事故については  
富山県交通事故相談所東別館1階  
☎(0764)31-4111 内4400
- 相談110番  
家庭問題・悪質商法など、どんな相談にも応じます。  
☎(0764)42-0110
- シルバー110番  
高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター  
富山市舟橋南町5-14 社会福祉会館内  
☎(0764)41-4110
- よい子の電話相談  
子育てに関して心配や悩みにお答えします。  
☎(0764)33-4150(県庁生涯学習室内)

## 県からのホットニュース

- 見て、聞いて、ご意見をお寄せください。
- テレビ広報  
■チューリップテレビ 毎週日曜日 PM5:15～5:30 「ふるさとトーク」
  - 富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00～9:30 「112万人のひろば-クイズ/フォーカス-イン」
  - 北日本放送 毎週日曜日 AM11:00～11:30 「こんにちは富山県です」  
9/7 我がまちふるさと自慢 ～大沢野町～  
9/14 芸術文化の華ふたたび  
9/21 守らんまいけ交通ルール  
9/28 野鳥のことはおまかせ! ～バード・マスター～
  - 北日本放送 毎週土曜日 AM9:30～9:45 県教育委員会 小さな手 大きな目「あしたの家族」
  - ラジオ放送  
■FMとやま「ふれあいホットライン」  
県内各地からホットな話題をおとげします。  
毎週月～金曜日 AM9:50～9:55
  - 新聞広報  
■北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日 毎月第2、最終土曜日 「県からのお知らせ」

## 平成9年 10月 街頭献血日程

日曜日	献血場所	時間
1	利賀村役場前 となみ野農協利賀支店前	9:30～11:00 12:00～16:00
4	JR高岡駅前	10:00～16:00
11	富山アピタ前	10:00～16:30
12	ジャスコ砺波店前	10:00～16:00
15	魚津市役所前	9:30～16:00
16	立山町商工会館前	9:30～16:00
21	八尾町役場前	12:30～16:00
25	富山産業展示館前	9:30～16:00
26	ハッピータウン氷見店前	10:00～16:00
29	小杉町役場前	12:30～16:00

※都合により変更する場合がありますので、当日の新聞・テレビの街頭献血案内等でご確認ください。

◎マリエとやま6階の献血ルームでは、月曜日を除く毎日(年末年始、マリエ休館日を除く)献血を受け付けています。  
受付時間 全血献血 10:00～12:30 14:00～18:00  
成分献血 10:00～12:00 14:00～17:30

◎マリエ献血ルーム(☎0764-45-4500)  
血液センター(☎0764-51-5555)

## お知らせ

### とやまマルチメディア祭'97開催

最新の情報機器の展示やイベントを通じて、マルチメディアの普及を図り、地域の情報化を進めるため、「とやまマルチメディア祭'97」を開催します。

日時 9月5日(金)～7日(日) 午前10時～午後5時

会場 第1会場 富山市体育文化センター  
情報機器・システムの展示 パーチャルリアリティ体験 3Dシアター 各種ゲーム ほか

第2会場 富山県総合情報センター  
マルチメディア民話ライブ わこうどホームペー ジコンテンツ デジカメ探検隊 ほか

第3会場 とやま高度情報センター  
マルチメディア接続体験コーナー ほか

問合せ とやまマルチメディア祭'97実行委員会事務局 ☎0764-42-6161

### 平成9年度 生涯学習フェスティバル開催

日頃の学習活動の成果を広く発表する生涯学習フェスティバルが、クロスランドおやべを中心に開催されます。

《主な催し》オープニングイベント コーラスや舞踊などの学習発表 デイバート大会 竹細工などの体験教室 ほか

日時 10月18日(土)・19日(日)

場所 クロスランドおやべ、小矢部市農村環境改善センター、おとぎの館(小矢部市立図書館) ほか

問合せ 生涯学習フェスティバル実行委員会 ☎0766-67-1760(内)527

### 出会いが効く 富山のくすり

「富山のくすり」をわかりやすく紹介する「富山のくすり」

## 改訂発売

### 9月は障害者雇用促進月間です。

国や県では9月を「障害者雇用促進月間」と定め、障害者の職業的自立意識を喚起し、県民や事業主の方々の障害者雇用の気運高揚を図っています。一人ひとりが障害者雇用について、ご理解とご協力をお願いします。

◎障害者雇用促進展  
北陸ジャスコ高岡店 9月3日(水)～9月7日(日)  
問合せ 県庁職業安定課 ☎0764-44-4564

### 「新しい 息吹を水に 下水道」 第37回全国下水道促進デー

9月10日は、全国下水道促進デーです。

県では、平成12年度末の下水道普及率の目標を61%に設定し、より一層、下水道事業の推進を図っていくことにしています。今後とも県民のみなさまのご理解とご協力をお願いします。

問合せ 県庁下水道課 ☎0764-44-3351

### 動物愛護週間行事のご案内

県では、動物愛護週間(9月20日～26日)に「子犬・子ねこの里親探し」「愛犬のしつけ方教室」「動物図画コンクール」「動物の慰霊祭」などを行います。このうち、21日は里親探しを行うほか、里親に出される子犬・子ねこの引取りも行います。

日時 9月21日(日)

引取り 午前10時30分～12時30分  
譲渡し 午後1時30分～3時

場所 立山町利田 富山県動物管理センター  
問合せ 同センター ☎0764-62-1346

吹奏楽や民謡民舞、洋舞、演劇、チエコの人形劇団の公演などをお楽しみ下さい。

開催日 9月14日(日)～10月12日(日)までの日曜および祝日

入場料 1公演 4,500円(利賀往復バス券、食事券付き)

会場 富山県利賀芸術公園

公演日程およびチケット等については、(社)富山県芸術文化協会 ☎0764-41-8635(内)1233～1255までお問い合わせください。

### 中央植物園催し参加者募集

植物を染料にして毛糸や布を染める講習を行います。

日時 9月20日(土)、21日(日)(いずれかの日を選択)

午前10時～午後4時

場所 富山県中央植物園 管理研修棟実習室

講師 足立紀美子さん(女子美術大学講師)

定員 各24名(往復はがきによる申し込み先着順)

参加費 1,000円(材料費)

植物園講習会

植物を科学的にかつ正確に描く植物画の講習を行います。

日時 9月27日(土)～28日(日) 午前10時～午後4時

場所 富山県中央植物園 管理研修棟研修室

講師 豊田路子さん(植物画家・フェアリーリングの会員)

岡田宗男さん

定員 50名(往復はがきによる申し込み先着順)

参加費 画材費として500円程度必要

以上申込み・問合せ 富山県中央植物園  
〒939-27 婦負郡婦中町上善田42  
☎0764-66-4187



### 乾燥剤は再利用できるの？

**Q** のりやせんべいに入っている乾燥剤は、捨ててしまふのはもったいない気がします。再利用できないのでしょうか？

**A** 消費者のリサイクル意識が高まっているなかで、このような疑問を持つ人は多いのではないのでしょうか。

私たちが乾燥剤・除湿剤として使用しているものは、その成分から次の3種類に分けられます。

・シリカゲル：クッキーや袋菓子に入っている透明な乾燥剤・生石灰：のりやせんべいによく使われている白色で粒状の乾燥剤

・塩化カルシウム：衣類等の除湿剤として使われる、吸水して液体になるもの

シリカゲルは、透明な粒の中の青い粒がピンクになると効力が限界に達したことを示しています。フライパンでから炒りするか、電子レンジで加熱して粒が再び青くなれば再生できたという合図です。しかし、目的外の使用は思わぬ事故のもとにもなるので注意が必要です。なお、最近では「天日に干すだけで繰り返し使えます」と表示されたものもあります。

生石灰は、乾燥剤としての再利用はできませんが、水分を含んで「消石灰」となれば土壌改良剤として使用できます。生石灰はごっこつとしていますが、消石灰になるとサラサラの状態になります。乾燥剤がパンパンに膨らむので消石灰になったことがわかります。ただし、開封の際は、目に入れたり吸い込んだりしないように注意してください。塩化カルシウムは、吸水して液体になったものを再生するには高度な処理が必要なので、家庭では不可能です。いずれにしても、再生するときは、自らの責任で、安全性に配慮したうえで行って下さい。

相談は、県消費生活センター、電話0764(32)92333、高岡支所、電話0766(25)2777

暮らしの  
アドバイザー



### 編集後記

★プロゴルフアー池淵富子さんの取材では、仕事そっちのけでゴルフ談義。ショットするときの心構えから練習方法にまで話が及んだが、どれも説得力にあふれていた。いや、トッププロの言葉だからこそ説得力があるのだ。誰かにゴルフを教えている、相手にされなかった経験はありませんか？多分その人は、あなたの腕前を認めていないのです。(M・K)

★去年の夏の終わりに見たみくりが池周辺の風景はとても印象的だった。雪が積もっていたあたりは真っ白。私は池のほとりで寒さに震えながら日の出を待っていた。池の向こうに広がる立山連峰、その奥からゆっくりと昇る朝日。あまりの美しさに大感激。そんな自然の美に出会いたくて、休日ともなると野に山に出かける私なのである。(M・I)

★陶友会会長の徳井さんは、自宅に茶室を造り、自作の焼き物で茶道を楽しんでいる。茶碗をはじめ、茶入れ、水指などをすべて手作り。「自分で作った茶碗で点てたお茶は格別ですね」と徳井さん。帰り際にそんな作品の中から茶碗を一ついただいた。一期一会の気持ちで接していただいた思い出とともに、大切にしていきたい。(Y・I)

●今月号で掲載したPIN UP TOYAMAの写真  
●を抽選で5名の方にワイド六ツ切(25×18  
●センチ)でプレゼントします。希望される  
●方は、官製ハガキで下記の様式でお申し込  
●みください。平成9年10月24日消印有効です。

930	富山県広報課 写真プレゼント 9月号係あて
氏名	年齢
住所	
電話	
本誌を読んだ感想	

## とやま 水紀行

### 立山連峰に抱かれた美しい池

#### みくりが池(立山町)

標高約二千四百メートルの立山室堂平にある「みくりが池」はハイマツの群落に囲まれた楕円形の美しい池である。

湖岸線が四百メートル以上にも及ぶこの池は、立山の水蒸気爆発でできた火口に水が溜まった「火口湖」。青々と澄んだ水をたたえているが、栄養分が少ないため魚は生息せず、ミジンコの仲間が確認されるだけである。

不思議なことに池には流水口はない。水は地中にしみ出し、約二百メートル離れた地獄谷へ流れ出ていると考えられている。池の水温が真夏でも平均十度前後と低いのは、水深が約十六メートルと深いうえ、湧水がたくさん流れ込んでいるためである。

立山一帯は古代より信仰の対象とされ、みくりが池は夏でも雪を浮かべているので「八寒地獄」と呼ばれた。池の名の由来については、神の食物を調理するところという意味の「御厨」からきているという説と、その昔この池で泳いだ越前の法師が三巡目で水中へ姿を消したことから「三操ヶ池」と書くようになったという説がある。

登山者や観光客でにぎわった短い夏も終わりを迎えると、室堂周辺にはひんやりとした風が吹きはじめ。みくりが池は、立山の主峰、雄山の荘厳な姿を水面に映し出しながら静かに秋の訪れを待つ。



# 私たちが国体を盛り上げます。

～ 2000年とやま国体マスコットの愛称決定！～

2000年とやま国体マスコットの愛称募集には、県内外から 22,000件あまりの応募があり、その中からマスコットAが「<sup>ときまる</sup>時丸」、マスコットBが「<sup>かぜまる</sup>風丸」に決定しました。

今後、このマスコットたちはいろんな場面に登場し、2000年とやま国体を盛り上げていきます。

「時丸」「風丸」の活躍に請うご期待！



マスコットA

マスコットB

<sup>ときまる</sup>  
「時丸」

新世紀へのさらなる発展の願いを込めて、「2000年」を浮き彫りにした“時の精”をイメージして名付けられました。

<sup>かぜまる</sup>  
「風丸」

2000年とやま国体に集うすべての人たちの夢を乗せて全国へ、そして未来へ幸を運ぶ“風の精”をイメージして名付けられました。